

「第6次基山町総合計画（案）」に関するパブリックコメント 提出意見とその回答

番号	提出方法	提出日	意見	基山町の回答
1	メール	令和7年1月7日	(24 ページ) 1－4 社会教育 3：活動を通じた参加・交流の拡大 ●町民体育大会や区対抗スポーツ大会を町民の誰もが参加できるスポーツ行事となるように努めます。 ＊これについての意見です ここ数年間町民体育大会を廃止してほしいとの町民の方の意見を何度も聞きますが、この6次計画には反映されていないと感じています。中心となってやっている方の年齢が高齢化しています。若い世代の家族はこどもの習いごととかのために参加しない。選手のなり手がいないため、その時の体育委員が無理やり出ている等々、この状態はこれからも10年以上は続くと考えられます。年齢に関係なく参加出来るような事を計画していただきたいと思います。もっと町民の意見を反映された計画を考えて欲しいです。	町主催のスポーツ行事に対するご意見は賛否ございますが、町民が一堂に会して開催されるイベントは基山町の規模だからこそできる強みだと思っております。 そこで、行事そのものを廃止するのではなく、参加を希望する方が参加できる方法を模索し、継続する方向で検討しています。 例えば、町民体育大会や区対抗スポーツ大会の競技内容や役員の関わり方などについて、町民の皆さまと意見交換をし、町民の皆さまがスポーツに親しみ、多世代交流につながるスポーツ行事の開催を考えていきます。 また、いただいた意見にございます「年齢に関係なく参加出来るような事を計画していただきたい」と同じく、第6次基山町総合計画（案）においても、「誰もが参加できるスポーツ行事となるよう努めます」と記載しています
2	メール	令和7年1月14日	(24 ページ) 1－4 社会教育 3：活動を通じた参加・交流の拡大 ●町民体育大会や区対抗スポーツ大会を町民の誰もが参加できるスポーツ行事となるように努めます。 1、町民体育大会については、このまま継続すること	

番号	提出方法	提出日	意見	基山町の回答
			に反対の意見が多く、タイミングよく第 12 区自治会として、昨年 12 月、区民に対しアンケートを取りましたので結果を報告いたします。 ☆ 回答総数、249 戸、現行の町民体育大会については廃止 239 戸、継続が 10 戸。 96%のご家庭で、現状の町民体育大会は望まないという結果でした。 ☆ 65 件のコメントがあり（詳細は、コピーを提出予定） 廃止の意見の中では ・高齢化が進んでいて、参加が難しくなっている ・高齢化が進んでいて、体育委員の負担が重い ・自治会主催のイベントで交流が図られている ・高齢者から子供までが自由に参加できるイベントに変えたほうが良い ・子供の習い事で参加が難しい などの意見が寄せられていました。 継続の意見の中では ・貴重な交流の機会だと思う ・昔からの町民が一堂に集まる行事で継続してほしい ・高齢者や子供が参加しやすい種目に変えて継続してほしい などの意見が寄せられました。 今回の結果から、従前の町民体育大会は廃止し、よ	が、町の思いが伝わるように表現については検討します。

番号	提出方法	提出日	意見	基山町の回答
			り多くの人が自由に参加できるスポーツ大会に変えていくべきと思います。 一昨年、体育部長会議や区長と体育部長の合同会議においても、出席者の多くの方から同様の意見が出ていたことを記憶しています。今回の総合計画案において、これまでのスポーツ大会の延長線で進めることには反対で、もう少し、町民の意見に耳を傾けて頂きたいと思います。 2、区対抗スポーツ大会について 昨年は、国体の関連もありラージ卓球が行われました。経験者に有利であったり、比較的高齢者のかたが多く参加され、参加人数は、従来のソフトボールやミニバレーより少なかったのかもしれませんが、大会自体は盛り上がって非常に良い試みであったと思います。 従前は、ソフトボールとミニバレーで、基山町の土地柄からか、盛んなスポーツであり、各区でお弁当を食べ、終了後には打ち上げを行い盛り上がっているように見えますが、実際は、毎年ほとんど同じ方々が出場し、限られた人達の大会になっており、見直しが必要だと思います。 今後、町民体育大会、区対抗スポーツ大会について	

番号	提出方法	提出日	意見	基山町の回答
			は、これまでの大会に拘らず、<u>子供から高齢者まで</u>、より多くの人が<u>自由に参加</u>できるスポーツ大会に変えて行くべき時が来ているのではないのでしょうか。是非、そういう企画の検討をお願いしたいと思います。大会頻度も、二つの大会をどちらかだけで、年に一度でも良いのではないかと考えます。 一案としては、基山（きざん）を目的地とした登山、オリエンテーリングなど。オリエンテーリング大会は、Web 上に様々なオリエンテーリングの実施例があり、学校や体育館を利用した企画も見られるなど、いろいろなアレンジが可能です。 過去に実施したウォークラリーも良いかもしれませんが、いずれにしろマンネリ化しないような工夫をして行かなければならないと思います。	
3	メール	令和7年1月8日	（7ページ） また、将来像である『シン・アイが大きい基山町』～多世代共創による“ちょうどいい”まち基山～を実現し、「未来」の基山町にふさわしいまちづくりを進めるためには、町民、地域団体、企業、行政等が世代や分野を超えて広く連携し、それぞれが持っている知恵や力を十分に生かしながら、「みんなでつくる（多世代共創）」のまちづくりに取り組む必要があります。 理想像は理解する。しかし、実際は行政が設定し実行する施策が中心であり、本当に町民の理解と協力は	町が取り組む施策で予算が伴うものについては、住民の代表である議会での審議後、議決を経

番号	提出方法	提出日	意見	基山町の回答
			仰げているのかと私は思う。 また、着手はするけれども、いつの間にか消えてしまった施策等も多々あると感じている。着手をするのであれば、それを育て熟成し、正しく持続可能なものにしていく努力をお願いしたい。思い付きのような施策はするべきではない。私たちの税金が無駄になる。 また、町民の意識体制が整うように。新しい総合計画を町民の皆さまに分かりやすく共有できる方法も考えて頂きたい。 また、観光の充実を図り恒常的な経済効果を上げようとするのであれば、その底辺を支える農業や林業、後継者の育成、地場製品の安定的な供給などへの重点施策と継続が先決だと考える。是非、優先的に取り組んで頂きたい。 私たちは10年後には後期高齢者になる。10年後は、まだまだ福岡県のポテンシャルで何とか町を維持できている状況ではあろうが、心配するのは今後の子育て世代のことである。40代から50代の世代が今の私たちと同じ年齢になった時に困らないように。すでに日本全体の人口が減少している。このままの施策でいつまで持続できるのか？「人口が少なくとも稼げる町」に今からでもシフトしていくことを考えて頂きた	て実施しています。また、実施する際には、広報やホームページ等での周知や区長会での説明などにより、町民の皆さまのご理解、ご協力をいただいています。今後も、取り組む施策については、課題や効果などについて熟考し、実施していきます。 基山町議会の議決後、令和7年度に冊子とダイジェスト版の作成を予定しており、多くの町民の皆さまにご覧いただく方法を整えます。 第6次基山町総合計画（案）の「にぎわい」（39～47ページ）において、農林業、商業、工業、観光分野での維持管理や担い手確保、ブランド化等の施策を記載しています。これらの施策により、第6次基山町総合計画（案）に記載している4つの重点プロジェクト（12ページ）であるプラチナ世代・子育て世代・移住定住・雇用マッチング支援につながる施策を実施していきます。重点プロジェクトと施策との関係については、17、26、39、48ページに記載しています。

番号	提出方法	提出日	意見	基山町の回答
			い。 この計画が10年後の未来を理想とするのであれば、それはすでに私たちの世代が考えるべき問題だけでは無く（多分、私たちの世代は今の状態でも何とか町民同志で連携を取って人生終えることが出来る。）、今の若い世代が自分事として考えていかなければ、後々、自分たちに降りかかって来る問題になるのではないか。若い世代の基山愛と連携を如何に醸造するのかが今後の大きな課題では？「みんなでつくる（多世代共創）」のまちづくりを進めるためには、今まで基山町が掲げて来た「協働」抜きには考えられない。行政主導で施策を行い続けければ町民は何も考えなくなる。行政に依存してしまう。くれぐれも、町民が主体の町づくりに邁進して頂きたい。	基山町のまちづくりの最高規範として「基山町まちづくり基本条例」を制定しており、町民、議会及び町は、相互理解のもと協働してまちづくりを進めるものとしています。第6次基山町総合計画（案）でも、「2－6 協働（37 ページ）」において取組内容を記載し、町の重要な施策として考えており、更なる町民主体のまちづくりを進めていきます。 なお、すべての施策に「みんなで取り組みましょう」の項目を設けており、施策の推進に向けて、協働のまちづくりとして取り組める内容を記載しています。 また、「1－2 学校教育（20 ページ）」や「1－3 歴史（22 ページ）」の中にも記載していますが、若い世代のふるさとへの誇りの醸成に努めていきます。
4	持参	令和7年1月14日	観光は町を（県を、国を）救うと言われます。それは人々がそこに集い、お金を落としていく事からと思います。歴史は素晴らしい観光資源です。将来的にも消失することはありません。我が町の“基肄城”はその価値があり、人々を魅了し続けます。 行政と地域住民と業者、そして歴史の研究者が一丸	「3－4 観光（46 ページ）」において、基山（きざん）、基肄城等の地域資源を生かした観光振興と魅力発信について記載しており、町内周遊の観光ルートの充実や来訪者の増加を図ります。また、町民の皆さまによる町の魅力発信により、おもてなし体制を強化していきます。

番号	提出方法	提出日	意見	基山町の回答
			となってエコツーリズムとして活動出来れば、文化遺産（遺跡）の保全（保存）にも繋がっていきます。 もっと我が町基山へ（基肆城へ）来ていただき買い物も食事もしんで欲しい！！そのためには我が町の特徴である立地交通の利便を活かし、基山パーキング（高速道）の客も呼び込みたい！！そこで特別史跡の基肆城ミュージアムとキングダムミュージアム（仮）の併設です。 基山町ミュージアムとしての基肆城の役割は頂上よりの眺望による筑紫平野のドラマです。これをVRで見て頂くのです。（有明海から筑後川、宝満川に至り大宰府への海から川路（みち）交通（舟）の姿、南北朝の戦、戦国時代の島津の進軍の様子など、古代の様子は大変興味がそそられるところです。また礎石や土塁の造られる様子、米倉庫の活用の様子などVRによる映像化はワクワク感満載です（九州歴史資料館に一部有り））発掘物の展示はもちろんですが、眺望によるVRまたはスクリーンの展示が面白いと思います。 立地場所の案としては、けやき台北、基山パーキングの西、エミュー牧場の南、17号線元料金所の東側辺りです。集客の立地としては抜群のアクセスの良さがあります。九州大動脈の3号線国道及び17号線又基山パーキング寄りの導入路で奥のパーキングへ誘う事が出来るのでは！（金立パーキング方式）各々の道	また、「1－3歴史（22ページ）」において、文化財・文化遺産の保護についてやボランティアガイドの養成などによる人材育成にも引き続き取り組むことを記載しています。 総合計画は、「基本構想」と「基本計画」で構成し、町のめざす将来像と将来像を実現するために取り組む施策の方向性を示すものになっています。「基本計画」に示した施策への具体的な取り組みについては、別冊で毎年作成する「実施計画」や関連する個別計画に記載します。いただきました意見につきましては、具体的な取り組み内容となっておりますので、「実施計画」作成の際に検討させていただきたいと思います。

番号	提出方法	提出日	意見	基山町の回答
			路から2～3分（導入路面）で入れますし、大変分かり易い場所です。ホテルやレストラン等も可能ですし、基山にチョット立ち寄りましょうか！！が可能です。基山町にお金が落ちます。キングダムミュージアムについては、物語は現在進行形であり出版元の集英社の意向がまずは第一の話ですから、将来的に後年キングダムミュージアムが出来る事が想定されればミュージアム併設の利点が倍増すると思われます。キングダムの聖地としてのこの立地条件はどこにも負けないと思います。そしてグッズ販売が可能になればかなりの集客があると思われます。 この立地は近くに、二国境、三国境、温泉、そして基肄城No.1の水門が近くにある事です。ホテルやレストランなどの意味もその需要も少なくないでしょう！	